土木の日2013プロジェクト-九州横断道八勢川橋現場見学会-

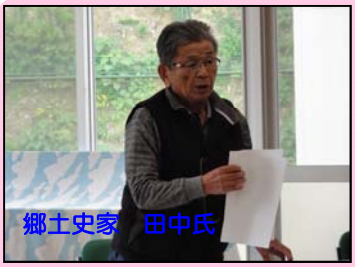
子どもたちの心に残った橋づくり!モノづくり!その楽しさ!

国土交通省熊本河川国道事務所

熊本大学工学部の大学生が特別授業！橋づくり！モノづくり！その楽しさ！

平成２５年１１月１４日（木）に、熊本河川国道事務所の「土木の日」イベント企画第１弾を実施しました！当日は、御船町立七滝中央小学校の生徒に「日向往還の今昔」「昔の橋と今の橋、構造とその違い」「工作で学ぶ橋の仕組み」「九州横断道延岡線が完成すると、地域の暮らしはどう変わるのか」等を様々な講師を交えて子どもたちに授業を行いました。今回はその特別授業を一挙大公開しちゃいますっっ！

特別授業一挙大公開!!


郷土史家　田中氏

地域の郷土史家が語る日向往還の歴史と先人たちの苦労

かつての日向往還（御船町～延岡市までを結ぶ街道）の歴史を御船町在住の郷土史家が方言たっぷりに子どもたちに解説！ローカルすぎる御船町の話題も交えつつ先人たちの苦労をわかりやすく説明していただきました。

熊本大学　岡部さん

昔と今の橋、その違いってナニ!?

桁橋からトラス橋、アーチや吊り橋まで、さまざまな橋の仕組みを図解でレクチャー！昔と今の橋の長所や短所など、独自の視点も取り入れつつ、堂々とした講師ぶりでした。

熊本大学の講師たち

石橋模型実験と発泡スチロールでつくるオリジナル橋梁

石橋ってどうやって造るの!?という疑問を一挙解決!!大学オリジナルの石橋模型で石橋造り実験!型枠をはずした瞬間、子どもたちの歓声があがりました!!また、発泡スチロールを用いた橋梁づくりでは、完成後におもりを載せて強度を測ります。出来上がった橋がおもりに耐えられるか、子どもたちは身を乗り出して見守りました。

九州横断道延岡線が完成すると地域の暮らしはどう変わる!?

熊本市から延岡市に行くため、これまで３時間だった所要時間が、九州横断道延岡線の開通により、１時間４０分になります！地域と地域を結ぶことで、生活圏の拡大や地域間交流を深めます！

熊本河川国道事務所
高倉工事課長

授業が進むにつれ、あっという間に子どもたちは特別講師の大学生と仲良くなりました。その様子に本企画が目指す「土木」を通じた世代間交流が深まったことを実感しました。また、授業の最後、子どもたちに感想を求めた際には、クラスのほぼ全員が挙手してくるなど、学習への関心の高さが伺える嬉しい手応えを感じました。

学習を終えた子どもたちから嬉しい感想が!!

今回の授業では、発泡スチロールを使った工作がとても楽しかった!実際に、自分たちで造ってみて気づいたこともあった。
次回の学習で八勢川橋に見学に行くときは、今日の学習で学んだことを忘れずに、橋を造る時の色々な仕組みを発見して、もっと橋について詳しくなりたい!!

担当者は見た!!

堂々と取材に応じる大学生講師たち

石橋模型の概要や工作の進め方など、マスコミの取材にも堂々と対応していました!

最後はみんなで記念撮影!!

土木の日イベントもクライマックス！九州横断道八勢川橋に子どもたちが大興奮!!

平成２５年１１月１８日（月）に、熊本河川国道事務所の「土木の日」イベント企画第２弾を実施しました！事前に日向往還の歴史や橋の仕組み、九州横断道の事業効果について学んだ御船町立七滝中央小学校の子どもたち（１８名）が、現在建設中の八勢川橋を見学しました。今回は、笑いあり、サプライズありの現場見学会の模様をリポートします!!

橋の高さ（５０ｍ）は、バルタン星人の大きさとほぼ一緒！の話に大爆笑！

くまモンも器用に寄せ書き！みんな興味津々！

上部工見学ではエレベーターで歓声（悲鳴）が！

子どもたちにくまモンから「橋博士認定証」の交付

現場代理人さんに熱心に質問する子どもたち

ゆるキャラころうくんと何故か「ゲッツ！！」

工事現場にサプライズで作業服姿のくまモンが登場！

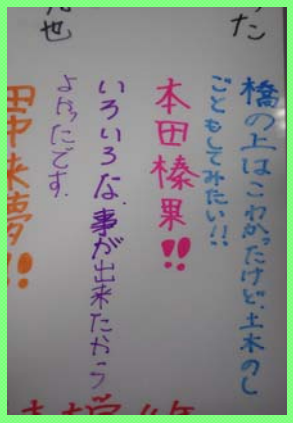
ヘルメットにサインをもらう施工現場のスタッフ

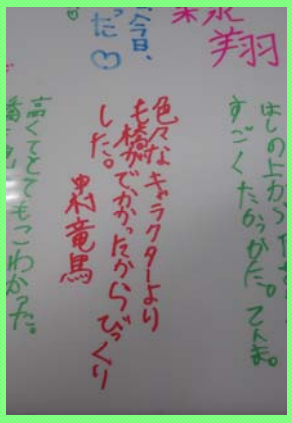
みんなで学習の感想や橋への思いを寄せ書き

イベント終了後の感想タイムには挙手する子ども多数！

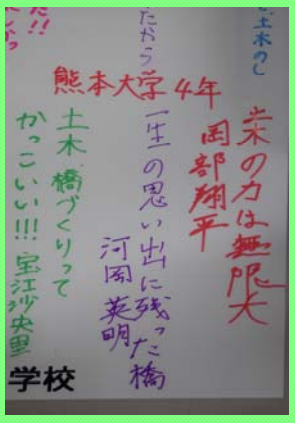
当日はあいにくの雨模様でしたが、子どもたちは元気よく八勢川橋の上部工にのぼり、橋の高さに驚き、熱心に質問をしていました。また、サプライズで登場したくまモンから交付された認定証には、くまモンからの直筆サインも入り、子どもたちにとって土木を学んだ記念の品になってくれたら…と願っています。

ピックアップコメント!!－嬉しい声の紹介－

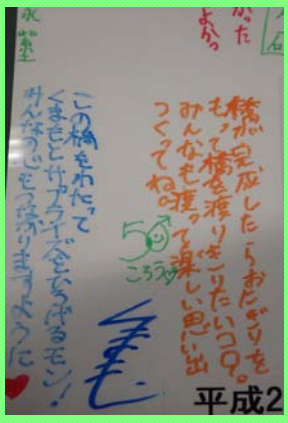




小学生たちの寄せ書き



大学生たちの寄せ書き



くまモン等の寄せ書き

子どもたちの感想－未来の技術者の卵!?－

★橋の上部工は高くて怖かったけど、造るための工夫や努力を聞くことができた。工作などの学習の後に現場を見て、もっと橋について詳しくなれた！

★今日は橋のことを知ることができてよかった。５年後に延岡線ができたら、高速道路を通って今回学んだ学習を振り返りたい！

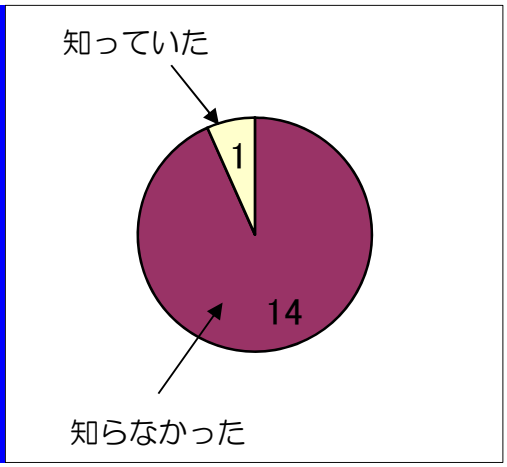
★橋の造り方やどうやったら橋が強く重さに耐えられるのかを勉強できてよかった！

最後にみんなで記念撮影!!

「土木の日」イベント参加者アンケート

イベント参加者数	18
アンケート回答者数	15

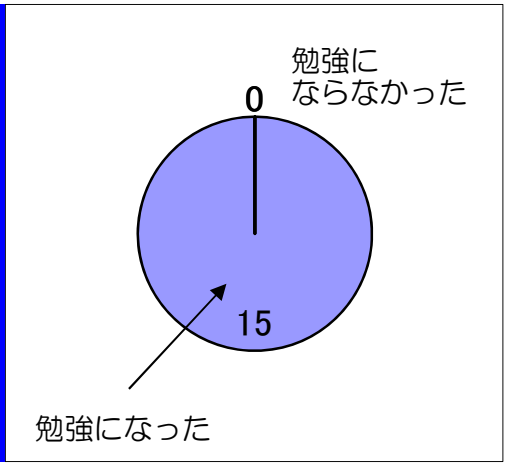
これまで「土木」という仕事やその内容について知っていましたか？



これまで「土木」の仕事について、「知らなかった」と答えた生徒は全体の９０％以上を占めている。

これまで、子どもたちにとって「土木」の仕事がなじみにくいものであったことが伺える。

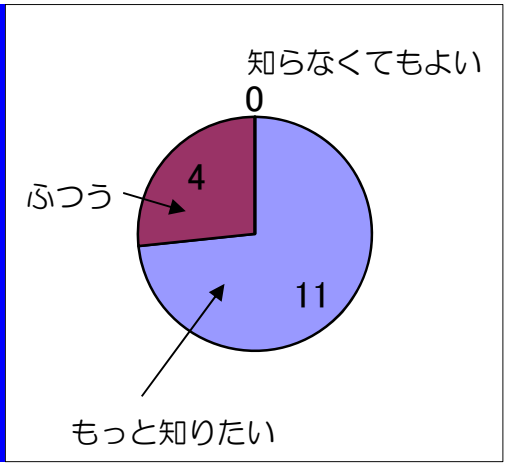
「土木」を学習した感想を教えてください



今回の「土木の日」イベントの学習を終えたすべての生徒が勉強になったと回答した。

学習テーマとしての「土木」が、子どもたちには満足のいくテーマだったことが伺える。

今回の学習を終えて。土木の仕事について感想を教えてください。



土木の仕事について、７０％以上の生徒がもっと知りたいと回答している。また、「知らなくてもよい」と回答した生徒はいなかった。

イベントを行うまでは「土木」について９割以上の生徒が「知らなかった」と答えていたが、７割以上の生徒が「もっと知りたい」と回答した。この結果から、イベントを通じて子どもたちの「土木」に関する関心と興味を引き出したといえる。

★★その他の主な意見・感想★★

- 橋のことについてたくさんのことが学べたし、橋が出来る前に上に上がって、とても多くの機械が使われていたり正確に橋を作っていることが分かりました。
- お仕事頑張ってください！私たちが大人になって橋を渡るのが楽しみです。
- 「土木の日イベント」に行ってとっても楽しかったし、今まで「土木」というのを知らなかったので、勉強になった。これからもっと「土木」についてくわしく勉強したい。
- 高いところは怖かったけどとっても楽しかったです。高速道路ができるのが楽しみです。
- ５年後、イベントを開いてみんなで集まって交流をしたい。
- 飾ったパネルを見てみたいです。完成したら呼んでください。